

広報 にしあわくら

07

758
.....

文月
2026

森を守ることが、人を育て、地域の未来を育むことにつながっています。



百年の森林事業の

これまでとこれから



はじめに

7月号は村の主要事業でもある「百年の森林事業」の振り返りとこれからの展望についてご紹介します。また、4ページから5ページでは事業を支える現場の方の声をお届けします。



「百年の森林事業」のこれまでを振り返って

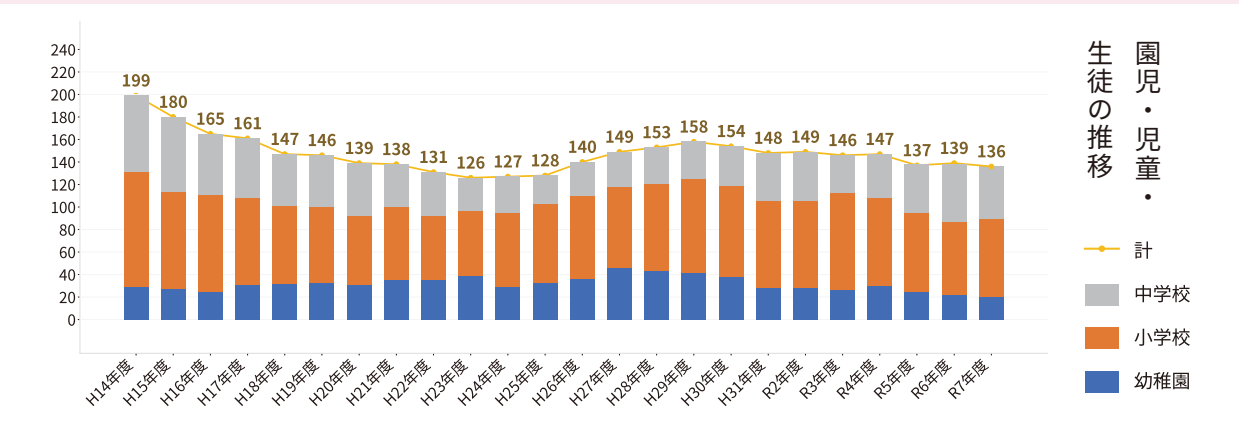
「百年の森林事業」は50年生にもなるスギやヒノキを、あと50年かけて森林を再生し、産業や仕事を生み出していくというコンセプトから生まれた事業です。

2008年着想、2009年から事業実施した「百年の森林事業」ですが、移住施策や災害対策など村の事業へ大きな影響を与える事業となっています。



「百年の森林事業」の成果

「百年の森林事業」を起点に村では「ローカルベンチャー事業」や「地域おこし協力隊事業」が始まりました。その結果、村内では新たに約70の事業者が生まれ、230人以上の雇用が生まれました。「百年の森林構想」着想から累計408人（令和7年度末時点）のインターン者が村へ移住しています。近年、全国で少子化問題が話題となっていますが、園児、児童、生徒の人数は「百年の森林構想」着想時139人から令和7年度136人とあまり減少していません。



「百年の森林事業」のこれまでとこれからの取り組み

村長コメント

「百年の森林事業」は、森林を単なる資源としてではなく、村の未来を支える財産として捉え、植える・育てる・使うという循環を地域の力で築いてきました。森林所有者、事業者、住民のみなさまの協力により、木材活用や雇用創出、移住定住の促進など、多くの成果を生み出してきたことは大きな誇りです。

これからは、森林の価値をさらに高め、脱炭素や生物多様性、観光や教育など新たな分野とも結び付けながら、次の百年へとつなげる挑戦を続けていきます。豊かな森を未来の子どもたちへ引き継ぐことこそ、私たちの責任であり希望です。

2008 年	百年の森林構想着想
2009 年	百年の森林事業開始
2019 年	百森事業主体が村 → 百森へ
2019 年	百森2.0(森林Re Design) 開始
2019 年	Jクレジット制度プロジェクト 開始
2019 年	西栗倉百年の森林協同組合 設立



現場を支える みなさんの声

現在、「百年の森林事業」を現場で支える西栗倉百年の森林協同組合理事長の青木昭浩さんと西栗倉村出身で現在は清勝で働かれている金田暁虎さんさんにこれまでの「百年の森林事業」についてや今後の展望などについてインタビューを行いました。

【「百年の森林事業」の立ち上げ当初を振り返ってみて、当時はどのような印象を受けましたか？また、特に苦労したことは？】

青木さん

当時は森林組合の下請けという立場でやらせていただいていた、事業自体の本質的な部分もよく知

らないような状況の中でやっていました。なので、この事業は継続できるのかなというのが1番の印象で不安でしかなかったです。

山を大切に育てて、を通して村の仕事や人口を増やしていくのが事業の本質的な部分です。木を売ってただお金を儲けることが目的ではないことを村民の方に理解してもらうのが大変で、自分たちがしていることが期待されることのギャップがあったりして苦労しました。

【現在みなさんの事業は「百年の森林事業」のどの部分を担っていますか？】

青木さん

現在、協同組合は12事業者加盟していただいて、事業者を1つにまとめることが我々の役割ですね。業者さんとのつながりっていうのはすごく大事だと感じています。具体的には、「こういう製品を作りたいから、こういう木が欲しい」とい

う注文をいただくことがあって、たとえば杉やヒノキ、あとは太さの指定で「末口が50センチのものが欲しい」とか「30センチまでのものがいい」といった形ですね。もちろん、「百年の森林事業」は良い木を残す定性間伐をしているので応えられない場合もあるんですが、そういった注文材に合わせた木を供給することで、施業を通して製材業者さんなど西栗倉全体の連携を深められるので、そういうつながりを大切にしていきたいなと思っています。

金田さん

清勝の事業の中でも僕がメインでやらせてもらっていることはチェーンソーで悪い木を切って、いい山をつくることです。誰がみてもきれいな山だと思ってもらえるように頑張っています。

【今後「百年の森林事業」に対してどのように取り組んでいきたいと思っていますか？】

青木さん

村はもちろん、日本全体で減少している林業の担い手を増やすことを目指していきたいですね。「百年の森林事業」を通じて林業の魅力を伝え、未来の担い手を育てることを目標に掲げています。その取り組みの1つとして、百森まつりというイベントを開催し、実際の林業現場で使われる重機の展示や体験を通じて、来場者にリアルな林業の魅力を感じてもらっています。特に子どもたちが林業に関心を持ち、将来この仕事に携わりたいと思うようなきっかけづくりになってほしいと思っています。

金田さん

これからも山をもっと綺麗にしていきたいと思っています。山を綺麗にしていくなかで、他の人たちにも「自分たちも山を



お持ちですか？またそれは村民にとってどんな良い未来が待っていると思いますか？】

青木さん

この事業が続いてほしいですね。「百年の森林事業」の取り組みにより移住者が増え、地域には子どもたちの声が響きます。その結果、村の消防団や地域行事が途切れることなく受け継がれ、西栗倉の生活や文化が守られることで、村民にとって活気あふれ

る未来が広がると信じています。

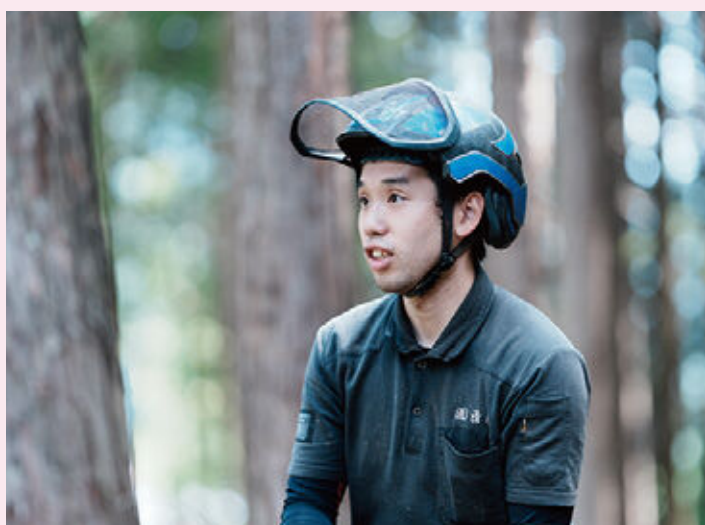
金田さん

木を通じて西栗倉の知名度が上がり、全国にその名前が知られることで移住者が増えたり、地元を離れた友人や若者が戻る動きが生まれることを期待しています。そうした流れが地域の維持や活性化につながり人々の交流が活発になることで、村全体がより豊かで元気な場所になると考えています。

(西栗倉百年の森林協同組合 理事長 青木 昭浩さん)



(清勝 金田 暁虎さん)



あなたの本探し、お任せください！

図書館入口に、「本えらびリクエストコーナー」を設置しました。

「本を読みたいけれど、選ぶ時間がない」「何を読めばいいかわからない」そんな時にご利用いただけるコーナーです。リクエストカードに、今読みたいことや気分、知りたいことなどをご記入いただくと、図書館スタッフがリクエストに合わせて本をおすすめします。ぜひお気軽にご利用ください。



子ども向け夏休みイベントします！

今年も夏休みのイベント企画をおこないます！詳細は後日、各学校のおたよりや館内ポスター、会館のSNS等でお知らせします。
お楽しみに！



▲InstagramQRコード



ご利用案内

7月 図書館のおやすみ

20日(月・祝日)
27日(月・図書館整理日)

8月 夜と、図書館の日

5日(水)～20時まで

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

あわくら会館 開館時間 8:30～22:00

あわくら図書館 開館時間 10:00～18:00

あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

図書館の新刊案内

『頭のいい人はこう考える』

ケヴィン・ダンカン／著 株式会社サンマーク出版

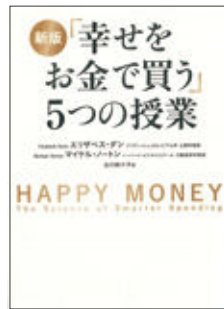


物事を整理し、より良い判断をするための「考え方」のコツを紹介。仕事や日常の中で役立つ思考法が具体例とともにわかりやすくまとめられています。考える力を磨きたい方におすすめの内容です。

● 一般書

『「幸せをお金で買う」5つの授業』

エリザベス・ダン・マイケル・ノートン／著 KADOKAWA



「お金をどう使うと幸せにつながるのか」を、研究結果をもとにわかりやすく紹介。日々の買い物や時間の使い方を見直すきっかけとなり、暮らしをより豊かにするヒントが得られます。

● 一般書

『日本買収 団塊世代の天命』

牛島信／著 幻冬舎



日本の土地や企業が海外資本に買われている現状をテーマに、経済や安全保障の視点から日本の未来を考える一冊です。見逃しがちな社会の裏側に目を向けるきっかけを与えてくれる一冊です。

● 一般書

『まゆとそらとぶくも』

富安陽子／文 降矢なな／絵 株式会社福音館書店



やまんばのむすめ・まゆが、不思議なくもと出会い空の旅へ。のびのびとしたまゆの姿と、幻想的な世界が楽しく描かれています。親子でわくわくしながら読み進めたい絵本です。

● 児童書

お問い合わせ先 あわくら会館・図書館 TEL 0868-79-2116 教育委員会事務局 TEL0868-79-2216



▲5/31(日)「ポケカであそぼう！」イベントの様子

あわくら会館



あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

主催行事

「花育プロジェクト」

5月29日(金)、地域のみなさんと一緒に「花育プロジェクト」としてプランターの植え替え作業を行いました。当日は多くの方にご参加いただき、色とりどりの花を植えて、会館周辺が明るく華やかな雰囲気生まれ変わりました。花を植えるがら会話も弾み、地域の交流を深める機会にもなりました。プランターに植えた花々は、これからあわくら会館周辺を華やかに彩ってくれることでしょう。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



村民講師行事

「ポケカであそぼう！」

5月31日(日)、ポケモンカードで自由に交流を楽しむイベント「ポケカであそぼう！」を開催しました。参加者はバトルを楽しんだり、お互いのデッキを見せ合いながら組み方を確認したりと、思い思いの時間を過ごしました。また、質問コーナーではルールやデッキ作りについての相談も行われ、初心者から経験者まで楽しく交流する機会となりました。世代を超えてポケモンカードの魅力を共有できるイベントとなりました。



3 すべての人に
参加と楽しみを



4 質の高い教育を
みんなに



▲Instagram
イベント情報



▲Facebook



保育園

『おともだちと一緒に』

おともだちが頑張っていたら助けてあげようしたり、心を寄せようとしていたり。そんな子どもたちの心のありようが、写真から伝わってきます。0・1・2歳児の子どもたちなりにおともだちと関わろうとする姿。見ている大人の方もほっこりして、思わず笑顔がこぼれます。異年齢でのやりとりも、どんどん増えてきています！



幼稚園

「ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）の様子」

今年度は、教育委員会地域プロジェクトマネージャー・生涯スポーツコーディネーターの清家悟さんを講師に迎えACPにチャレンジしています。ACPは日本スポーツ協会が開発した運動プログラムで、幼少期に身につけておくべき多様な基本動作を遊び感覚で習得していきます。いろいろな動きを、「遊び」を通して身につけることを目的とし、楽しみながら『走る・跳ぶ・投げる』などの基本動作が養われ、子どもたちの日ごろの運動不足の解消にも大いにつながります。実際に活動しているところを見ると、運動面だけでなく、ルールを守ることや協調性、思いやり等心の面も育てていることがうかがえました。これからもプログラムを継続し、心身ともに大きく成長してほしいと願っています。



小学校

海の学習で力を付けて帰ってきました！

5月20日(水)21日(木)、波川青年の家に5年生7名が、1泊2日で海の学習に行ってきました。暑すぎない曇り空の下、最高の海での活動ができました。「いかだ遊び」では、潮の流れを考えながらパドルでゴールを目指して進み、グループで声を掛け合い連携することの大切さを学びました。「カッター研修」では、津山市の誠道小学校と合同で、息を合わせて櫂を漕ぎ、遠くまで船を進め、力を合わせてあきらめずに頑張ることができました。その他にも、県下6校の児童と交流したり、地引き網をしたりするなど、体験を通して成長することができました。



中学校

沖縄修学旅行

6月2日(火)から3日間、沖縄へ修学旅行に行きました。台風6号の影響で一部見学できなかった施設はありましたが、戦跡を見学して戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えたり、あわくらみらい学の一環で沖縄の方々に直接インタビューして視野を広げられたりしました。沖縄の豊かな自然や文化に触れ、仲間といっしょにたくさん思い出をつくることのできた旅行でした。



百年の森林まつりを開催しました。

5月24日(日)、百森まつりを開催しました。当日は天候にも恵まれ、昨年度を大きく上回る多くのみなさまにご来場いただきました。来場者数は約1500人で村の人口を超える規模となりました。

会場では、林業機械の乗車体験や実演、木のおもちやコーナー、魚のつかみ取りをはじめ、大抽選会や多彩なステージ、飲食・物販ブースなど盛りだくさんの内容で賑わいました。来場されたみなさまには、西栗倉村ならではの魅力を感じながら、楽しい時間を過ごしていただけたことと思います。今後もさまざまな活動を通じて、西栗倉村の今を村内外へ発信してまいります。



【産業観光課】

防災気象情報が変わります。

令和8年5月から防災気象情報が新しくなりました。この時期は、梅雨や台風により、災害の可能性が高いため、防災情報について知り、日頃から備えておきましょう。

【変更点】

・警報・注意報の情報名に「レベル」が付く

大雨警報→レベル3大雨警報

・避難の必要のある警戒レベル4は「危険警報」として発表

土砂災害警戒情報→レベル4

土砂災害危険警報

・河川の氾濫の危険度の伝え方が変わる

洪水警報→洪水予報河川以外の河川→レベル3大雨警報

・線状降水帯の発生などは「氣象防災速報」として発表

記録的短時間大雨情報→氣象防災速報(記録的短時間大雨)

	河川氾濫 （河川氾濫の 大規模な氾濫）	大雨 （各地の渾水や 大雨川以外の氾濫）	土砂災害 （急傾斜地の崩壊や 土石流）	高潮 （海面の上昇や 潮の引き上げによる浸水）	（警戒レベルごとの 住民が とるべき行動）
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警戒	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警戒	レベル4 大雨危険警戒	レベル4 土砂災害危険警戒	レベル4 高潮危険警戒	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意警戒	レベル2 大雨注意警戒	レベル2 土砂災害注意警戒	レベル2 高潮注意警戒	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早急注意警戒				災害への心構えを高める

新たな防災気象情報

【総務企画課】

あわポ改定のお知らせとみなさまへのお願い

① 令和8年6月からのあわポ付与イベント・手続き

6月から特に変更したこととして、個別のイベントごとにポイント数を決めていましたが、村や会館のイベントは100ポイント、月1回開催や全5回の講座など複数回・定期開催のイベントは1回につき50ポイントで統一することになりました。これに伴い、ポイントが増えているイベントもありますので、ぜひ参加してポイントを貯めて下さい！

(ポイントがもらえるイベントや手続きは折込チラシのとおりです。)

② ポイント利用(ギフト券交換)に関するお願い

あわポのギフト券は、村内のほとんどのお店で使えるようにしていますが、これは村内の事業者のみなさまのご協力によるものです。

そのため、ギフト券発行のやり方などをお店で聞くことは控えていただき、あわポに関することは、折込チラシをご覧ください。どうか、役場総務企画課にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

③ スマホで登録したけど使い方がわからない・不安...という方

スマホであわポを登録したけれど、使い方が良くわからない、これまでギフト券を使ったことがないけれど実際に使えるのかが不安、という方はカードへの切り替えをおススメします。

④ スマホ利用は本登録を！

スマホであわポに登録した後に、本登録が完了していないと貯めたポイントを使うことができません。(メールアドレスで行う最初の登録は仮登録になり、本登録ができていないとトップページの「ギフトに交換」に進むことができません。)

ぜひこの機会に本登録をお願いいたします。

スマホからカードへの切り替えについて

令和8年6月まで

スマホからカードへの切り替えるとポイントが0に

令和8年7月から

スマホからカードに切り替えてもポイントはそのまま！

カードへの切り替えは、お手数ですが役場総務企画課にてお手続きをお願いいたします。



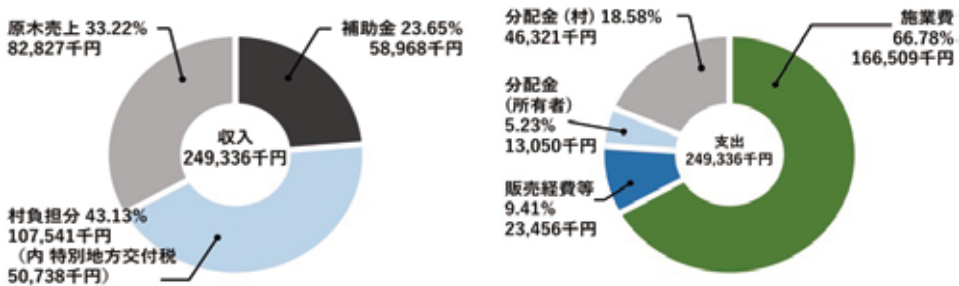
【総務企画課】

百年の森林事業の収支をご紹介します！

西粟倉村では「百年の森林事業」として、村の面積の93%以上を占める豊かな森林資源を活かしながら、山林整備を進めています。この事業は、村内の雇用や地域の暮らしを支えることを目指しています。

今回、令和7年度の収支についてご紹介します。この事業は「森林環境保全直接支援事業」という制度を活用して、県を通じて補助金を受け取っています。計画に沿って整備を進め、検査を経て補助金が交付される仕組みです。

百年の森林事業の収支状況

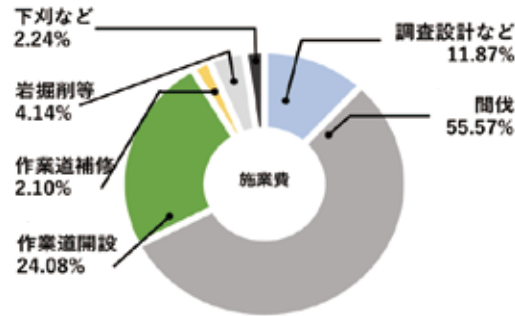


国や県からの支援を受けつつ、これからの未来につながるような持続可能な森林づくりを進めていきます。

事業費の大半を占める「施業費」とは？

- 事業費の中で最も重要な「施業費」には
1. 森林の調査・設計
 2. 間伐・皆伐による整備
 3. 作業道の整備や補修、岩掘削、下刈りなど

森林を守り育てるための具体的な作業費が含まれています。これらの活動には、村の財源だけでなく国や県の補助金を活用しながら取り組んでいます。



内訳	金額 (単位:千円)
調査設計費等	19,773
間伐費	92,526
作業動作設費	40,097
作業道補修費	3,498
岩掘削等	6,887
下刈り等	3,728

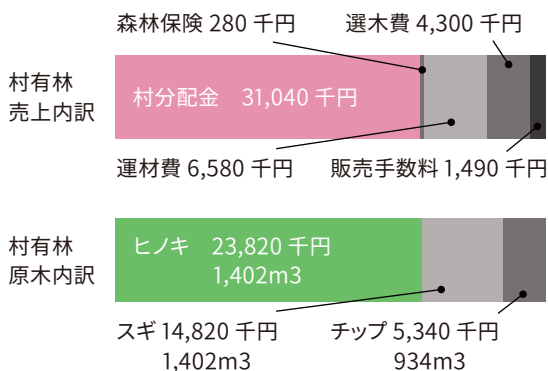
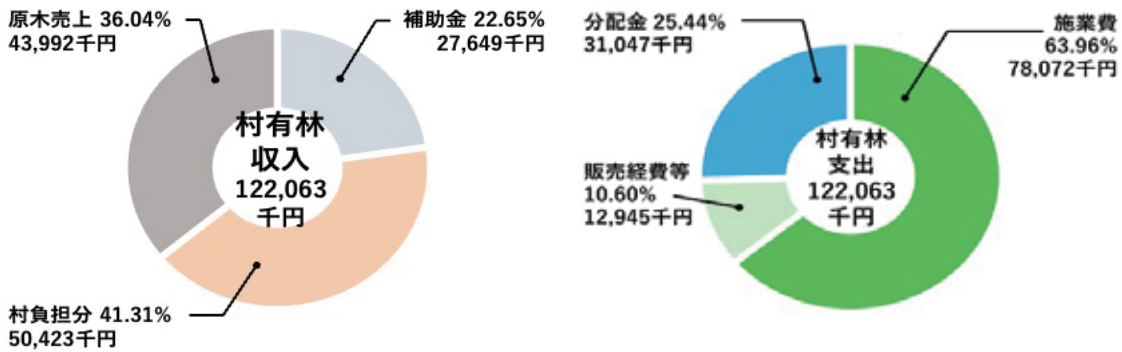
原木販売収入について

事業費の中には、伐採した木材を販売して得られる「原木販売収入」も含まれています。

この収入は、村と山林所有者に分配され、村の収入分のうち、村有林と民有林それぞれで整備を行った分が村の財源となります。

木材を販売する際には、運搬、品質の仕分け、記録や計算などに必要な費用がかかります。それから費用を差し引いた金額が、最終的に村の収入となり、その収入は翌年の森林整備費用に充てられます。そして、新たな森林づくりへとつなげていく仕組みです。

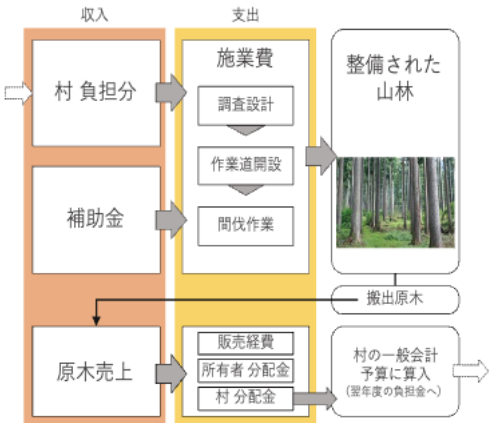
百年の森林事業の内村有林の収支状況



樹種	数量 (立米)
ヒノキ	1402.179
スギ	1402.036
チップ	934.595

事業から得た収入が再び村の森林整備に活かされる、この循環こそ「百年の森林事業」の大きな特徴。令和8年度も、森林整備、作業道の整備・補修、木材の搬出・販売等を進め、森林から得られた収入を次の森林整備につなげる循環を継続していきます。西粟倉村の森林とともに歩むこの取り組み、「百年の森林事業」をこれからも応援してください！

百年の森林事業お金の流れ



国民健康保険（国保）・後期高齢者医療（後期高齢）にご加入の方へ

『資格確認書』または『資格情報のお知らせ』をお送りします。

国保限度額適用認定証、特定疾病療養受療証の対象の方には、更新のための申請書を7月上旬に郵送します。8月1日以降も必要な方は、期日までに窓口で申請をお願いします。**※マイナ保険証を利用している方は、申請不要です。**

1. 資格確認書等の発送について

7月は、すべての被保険者資格（国保高齢受給者証（70～74歳）、国保限度額適用認定証、特定疾病療養受療証（毎月の医療費が一定以上かかる方）、後期高齢被保険者証（75歳以上）及び後期高齢限度額適用認定証）の更新月です。令和6年12月2日から被保険者証が発行されなくなったため、暫定的に

種類		有効期限	郵送時期	郵送を希望しない場合の連絡期日	備考
国民健康保険	資格確認書 または 資格情報のお知らせ	7月31日	7月下旬	7月10日	70歳～74歳の方には、負担割合が明記されます。
	限度額適用認定証特定疾病療養受療証 （マイナ保険証を利用していない方）	7月31日	—	—	申請書のみ発送期限までに提出をお願いします
後期高齢者医療保険	資格確認書	7月31日	7月下旬	7月10日	75歳以上 （限度額区分の記載が必要な方は窓口へお越しください）

※ 今まで使われていた資格確認書等は、各自で処分するか、窓口にお持ちください。

※ 保険税（料）を滞納している方には、郵送されない場合があります。

2. 保険料率が変わりました。（※子ども・子育て分が加わります!）

■国保

年度		令和7年度	令和8年度
医療分	所得割	8.0%	8.0%
	均等割	22,000円	24,000円
	平等割	19,000円	21,000円
後期高齢者支援金分	所得割	3.10%	3.10%
	均等割	9,000円	9,000円
	平等割	7,000円	7,000円
介護納付金分	所得割	2.20%	2.20%
	均等割	9,000円	9,000円
	平等割	5,000円	5,000円
子ども・子育て分	所得割	※※※※	0.30%
	均等割	※※※※	981円
	平等割	※※※※	1,036円

■後期高齢

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
医療分	均等割額	50,200円	60,100円	
	所得割率	10.49%	10.88%	
	賦課限度額	80万円	85万円	
子ども・子育て分	均等割額		1,400円	8年度中に算出予定
	所得割率		0.25%	
	賦課限度額		2万1千円	

医療機関を受診する際は、マイナ保険証が便利です！
マイナンバーカードの申請や「マイナ保険証」の利用登録については、お問い合わせください。



ダニに注意！

① 野山に入る方へ

野山に生息するダニ（マダニやツツガムシ）に刺されると、日本紅斑熱、つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などの重篤な感染症になることがあります。キャンプ、ハイキング、農作業などの際には、刺されないための予防対策が必要です。

② ダニに刺されないために

- ・肌が露出しないように、袖口を絞れる長袖、長ズボン、手袋、足を完全に覆う長靴等を着用しましょう。また、色の薄い服は付着したマダニを見つけやすくなります。
- ・服の上や肌の露出部分に、防虫スプレーを噴霧しましょう。



▲ ヤマアラシチマダニ（成虫）

- ・草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。

③ マダニに刺されたら

- ・医療機関（皮膚科）で取ってもらいましょう。
- ・発熱等の症状が認められた場合は、早めに医療機関（内科）を受診しましょう。

ウィメンズヘルスケアサービス「ルナルナ」を無償提供します

岡山県では、「性別を問わず、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めた人生設計や将来の健康を考えて健康管理」の推進に取り組んでいます。

今回、その一環として、ウィメンズヘルスケアサービス「ルナルナ」を運営する株式会社エムティーアイと連携協定を締結しました。

これにより岡山県にお住まいの方は、通常有料の「ルナルナプレミアムコース」を無料でご利用いただけます。

妊娠・出産を考えている方ははじめ、ヘルスケアに関心のある方におすすめてです。ぜひ活用ください。



【提供期間】
2028年5月31日まで
※ 期間終了後は、自動的に無料プランに切り替わります。

【利用方法】
西栗倉村特設ページにアクセスして利用登録を行ってください。

【専用コード】
YHP7DKT8

【お問い合わせ先】
岡山県保健医療部健康推進課
（☎086-226-7329）

第12回 村長杯 グランドゴルフ大会

5月25日(月)、第12回村長杯グランドゴルフ大会が、天岡グランドゴルフ場で開催されました。

当日は好天に恵まれ、たくさんの参加者が和やかな雰囲気の中で、グランドゴルフを楽しみながら親睦を深めました。グランドゴルフを通じて健康を保ちながら、これからも元気に活動されることを願っています。

入賞されたみなさん、おめでとうございます。



／ 結果 ／

優勝	高木 清伴
準優勝	草刈 弘幸
第3位	野田 久子
第4位	高木 智子
第5位	榎原 勝義

【総務企画課】

「人権の花」運動の 贈呈式を行いました

4月24日(金)に西栗倉小学校にて、「人権の花」運動の贈呈式を行いました。「人権の花」運動は児童が「人権の花」を栽培することにより、命の大切さ、お互いの立場を考え協力し合うことを理解し、思いやりの心を育てていくことを目的として、昭和57年から実施しています。

式では人権擁護委員から、代表の児童5名と校長先生に花の種やプランターの贈呈が行われました。

児童は式の後、たて割り班に集まり、どんな思いで花を育てていくかを話し合いました。



【保健福祉課】

第40回 村長杯 ゲートボール大会

5月22日(金)、コンベンションホールにて、「第40回村長杯ゲートボール大会」が開催されました。GB協会から5チーム、議会から1チームの計6チームが出場し、優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

ゲートボールを通じて親睦を深めるとともに、心地よい運動を楽しみ、これからもますます活躍されることを期待しています。入賞されたみなさん、おめでとうございます。



／ 結果 ／

優勝	チーム・グリーン
準優勝	筏津 チーム
第3位	議会 チーム



【総務企画課】

おしえて年金

付加保険料制度について

付加保険料制度は、国民年金の一般保険料に加えて付加保険料(月々400円)を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乘せされる制度です。

付加保険料を納めるためには、申し込みが必要であり、申し込みをした月分から付加保険料を納めることになります。

産前産後期間の国民年金保険料が免除になります

出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間の国民年金保険料が免除になります。届出は、出産予定日の6か月前からできます。

どちらの届出も役場窓口で手続きが可能です。令和6年3月29日よりスマートフォンでの電子申請もできるようになりました。詳しい利用方法は、日本年金機構ホームページをご確認ください。

★詳しくは、保健福祉課または津山年金事務所

(☎0868-31-2360)
までお問い合わせください。

【保健福祉課】

あわくらたんけんクラブ

ビオ田んぼde泥んこあそび



5月16日(土)のたんけんクラブは児童12名、中学生1名、保護者や家族8名に加え、地域の大人7名、総勢28名が参加しました。株式会社エーゼログループさんの田植え前の「ビオ田んぼ」で泥んこあそびを楽しみました。

まずは、みんなで手をつなぎ、「せーの」の掛け声で田んぼへ大ジャンプ。走ったり、泥を投げ合ったり、寝転んだり、みんな顔まで泥んこになっていました。

また、カエルやメダカなどたくさんの生きものも見つけ、田んぼに住む「生きものたちの豊かさ」を肌で感じていました。

最後は、清流吉野川へ。冷たい川につかり、泥を流すことすらも遊びに変えて大はしゃぎしていました。田んぼから豊かな川の恵みまで、西粟倉の自然を丸ごと遊び尽くした一日となりました。

(協力／株式会社エーゼログループ、一般社団法人Nest)



お問い合わせ あわくら会館 (0868-79-2116)

むらまるごと通信 vol.56

【むlaboを飛び出し、百年の森林まつりに出店しました!】

むらまる研は、5月に開催された、百年の森林まつり2026に出店しました。これまで3年間は活動拠点である「むlabo」を中心に出店していましたが、今年はメイン会場に出店し、より多くの方々と直接お話しできる機会をつくりました。

当日は、村で採れた山菜を使った山菜おこわや、地域のお母さんたちから作り方を教わったヤマメのからあげを販売しました。また、ワーキングホリデーで西粟倉村に滞在在中

の台湾出身メンバー・ペギーによる台湾カステラも販売し、多くの方に楽しんでいただきました。

ものづくり体験ではお面づくりなどを実施。子どもたちは思い思いの色や模様で飾り付けを楽しんでいました。

今回の出店を通じて、地域の食文化やものづくりの魅力を体験していただくとともに、むらまる研の活動を知っていただく機会となりました。お立ち寄りいただいたみなさま、ありがとうございました!



連絡先 090-4109-6500

あわくら大学5月講座

地域おこし協力隊の活動と想いを知る

5月15日(金)、あわくら会館あわくらホールにて「地域おこし協力隊を知る」をテーマに講座を開催しました。現在、村内で40名が活動し、20以上の事業者と連携する協力隊。今回は田村伶氏(役場総務企画課)を進行役に、山本望愛氏、谷口敦氏、政久翼氏の3名が登壇しました。

不動産仲介を行う谷口氏は「若い人が増え、村が活性化して面白くなったらい」と語り、元隊員で木材

材に関するメディア運営を手がける山本氏は「林業に関わる人々を応援したい」と想いを披露。

5月にUターンし、鍼灸とヨガ栽培を始めた政久氏の「故郷の村へ恩返しをしたい」という想いを聞き、協力隊が村にもたらす変化と未来像を共有しました。

参加者からは「協力隊の活動を改めて深く知ることができた」と声が上がリ、多世代で村の今を学び合う貴重な機会となりました。



あわくら会館・図書館 副館長白岩将伍

特色ある教育通信

「中3生が挑戦!西粟倉の魅力が詰まったキーホルダー配布!@百森まつり」

中学校3年生が、これまでの総合的な学習の時間「あわくらみらい学」のフィールドワークや職場体験を経て「人口減少」という村の課題に着目しました。

「もっと人を呼び込み、村の魅力を外に発信するには?」という問いに向き合い、2年生までの実践や地域の方からの助言を経て、村の資源を使った魅力を多くの人に発信できる「オリジナルキーホルダー」という手段にたどり着きました。

生徒らは村の木やシブヤカバンの鹿革を使い、むlaboの山崎誠人さんの指導のもと5つのロゴを制作。5月の百森まつりでは村内外の人に積極的に売り込み、わずか15分で完売させました。

手に取ってくださった方に自らインタビューを行ない、社会からの生の声を受け取ることで、自分たちの表現が届く手応えと自信を掴んでいました。



教育コーディネーター 青木 采里奈

社協だより

令和7年度 一般会計収支決算報告書

	科目	決算額	単位(円)
収入	会費収入	475,5000	
	寄付収入	173,000	
	補助金収入	15,574,000	
	受託金収入	8,460330	
	利用料収入	327,100	
	その他の収入	920,997	
	福祉有償収入	395,337	
	受取利息収入他	150,000	
	収入合計	26,476,264	
支出	人件費支出	24,274,377	
	事業費支出	2,000,427	
	事務費支出	4,766,685	
	助成金支出	320,640	
	支出合計	31,362,129	
	活動増減差額	△4,885,865	

第15回 村老連杯囲碁ボール大会

6月4日(木)第15回村老連杯囲碁ボール大会をあわくら会館百森ひろばで開催しました。総勢 75名の参加があり、日頃の練習の成果が発揮され、白熱した試合が各コート繰り広げられていました。



結果

団体戦
優勝 天岡会B チーム(猪之部)
準優勝 いかだつ チーム(筏津)
第3位 さわやかA チーム(別府)

個人戦
優勝 春名義昭さん(谷口)
準優勝 草刈弘幸さん(坂根)
第3位 豊福基世さん(猪之部)
おめでとうございます!

西栗倉村社会福祉協議会

令和7年度事業報告、決算報告

西栗倉村社会福祉協議会は、地域で暮らす方々の参加・協力のもと「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことができる福祉の村づくり」の実現を目指して事業を展開しました。

令和7年度 実施事業報告

☆法人運営

・理事会の開催

・評議員会の開催

・社協会員の状況

(個人会員 354名 団体会員 15団体)

☆地域福祉活性化事業

・いきいきふれあいサロンの活動支援

(高齢者の集いの場)

・地区サロン学習会の実施

・介護予防事業(はなの会)

・外出支援サービス事業(福祉バス)

・日常生活自立支援事業

・生活福祉資金特例貸付事業

・フードドライブ事業(生活困窮者)

・弁当配食サービス事業

・買い物ツアー事業(引きこもり防止)

・ミニシルバーセンター事業

(高齢者の生きがいづくり)

・通所付添事業(であい茶屋)の活動支援

☆ボランティア活動事業

・ボランティア活動協力校

(幼稚園・小学校・中学校)

・生活応援センター事業(楽々)

・一時預かり託児(おひさま)

・病児・病後児保育事業(にじ)

・夏のボランティア体験事業

☆その他の事業

・赤い羽根共同募金事業

・日本赤十字事業

・災害救援事業(義援金事業)

・地域包括支援センターとの協働事業

・ふれあい祭り(福祉大会)

・各種団体への活動支援

俳句

令和八年五月十六日
兼題・柏餅・風薫る

耕運機張り切る農夫初夏の風
柿の花友の訃報を聞きし朝
葉の日ヒーロー柄の絆創膏
薫風に駆ける青春オートバイ
真夜中の吾と倅と生ビール
かしわもちいとこ八人昼ご飯
母の味出せぬ餡子の柏餅

小坂康子
小椋仁美
乾沙織
春名知子
宮本竜治
萩原みろく
春名洋子

選者吟

薔薇の香を絵筆に載せて画学生
○毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動しています。
丁寧に指導しますので、初心者の方でもぜひご参加ください。

川柳

栗の実川柳社 令和八年六月初会から

内緒話し老いの声は大きすぎ
耳元でそつと呟(つぶや)く困り事
歩いてもなかなか着かぬ目的地
古希となり歩いた道を写真から
ジム通いマシン歩いて貯筋する
楽しいな歩行天国食べ歩き
五千歩を続けて秋に城めぐり
この夏も豪雨来ると願かける
晴天続く雨と思いき梅雨に入り
輝いた選手の陰に血の努力
孫たちの輝く笑みに夢抱いて
大木を根こそぎ倒す風の力(りき)
鮎解禁太公望の長い夏
有難い感謝しながら生きている

井上吉男
清水早苗
清水早苗
春名佳世子
河野紀子
建元照子
野村豊紀
熊見万智子
建元照子
井上吉男
河野紀子
春名佳世子
熊見万智子
竹内茂子

人の動き

■令和8年6月1日現在の動き

	5月中の移動
人口	1,269人(1)
男	604人(0)
女	665人(1)
世帯数	596戸(2)



広報についてのご意見・感想は掲示板、総務企画課までお問い合わせください。

◀ 村民掲示板ページQRコード

善意の窓

■令和8年5月22日～令和8年6月16日

【香典返し】

坂 根 釜本 初男 様 母 民代 様

寄せられたご寄付は、ボランティア活動などの地域福祉の推進に役立っています。

■入札状況

事業名	施工場所	落札業者名	契約金額
令和8年度 防災関連備品 (除雪機)	影石	日笠商事株式会社	8,398,500円
令和8年度 防災関連備品 (拡声器・ 空気清浄機)	影石	日笠商事株式会社	1,199,000円

あわくら百景

あわくら百景



【長尾の化け猫】

その昔、このあわくらの里には大きな化け猫がいたらしい。夜な夜な旅人を招き入れては料理をして食べていたそう。村人たちは困り果て、ある時ようやくお侍さんが退治をして、その長い尻尾をこのあたりに置いたことから「長尾」と呼ぶようになったらしい。ちなみに頭をお隣の鳥取県智頭町、右手を美作市右手町のあたりに置いたことからその地名の所以になったとか(諸説あり)。私はどの神様よりも猫を崇拝しているが、概念的に猫のエキスの入ったこの場所で呼吸をしているその事実だけでもありがたいなと毎日思う。まあ私が住んでいるのは影石なんだが。

村民紹介リレー

「生きるを楽しむ」
西栗倉村の人々を
友達紹介リレーで
インタビュー！



Pick Up!

金澤 修次さん

Kanazawa Syuji

年齢：51

所属：あわくらSS

今月のテーマ

「世代を超えてつながる、コミュニティのある暮らし」

金澤修次さん（51歳）は西栗倉村で生まれ育ち、商業高校を卒業後、京都で少しの間暮らしていましたが帰郷しました。ファミリーマートで約8年、40歳頃からグリーンリゾットを経て、現在は村唯一のガソリンスタンドに勤務しています。実家が雑貨店だった影響で接客業に親しみ、給油や配達でのお客さんとの会話が生きがいと話されています。趣味はギターと音楽・映画鑑賞、休日は家で過ごします。村の暮らしに不自由はなく、現状の政策にも満足し、移住者が増えていることをありがたく感じられているそうです。一方で、地元に残って1人暮らしになる高齢者が増えており、その人たちと常設的にフラットに触れ合える場があればと思うそうです。自分はスタンドで人と関わって十分満足だけれど、若い人と高齢者が繋がる機会がもっと広がってほしいと話されていました。自分発信は苦手だけれど、協力を求められれば頑張りたいとのことでした。



西栗倉村役場
電話番号

総務企画課
出納室
保健福祉課
産業観光課

0868-79-2111
0868-79-2113
0868-79-2233
0868-79-2230

建設課
教育委員会
診療所
FAX

0868-79-2231
0868-79-2216
0868-79-2220
0868-79-2125

広報
令和8年7月号
No. 758

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村 石33-1
西栗倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125



新登場！
サマージャンボプレミアム
1等・前後賞合わせて12億円
サマージャンボ・サマージャンボミニ同時発売
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
プレミアム：1枚 500円
ジャンボ・ミニ：1枚 300円
6月30日（火）3種類同時発売！
発売期間 6/30（火）～7/31（金）
公益財団法人岡山県市町村振興協会